

家 庭

家庭科においては、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、課題を解決する力を育むことが課題です。そのため、指導事項を踏まえた評価規準を設定すること、児童が主体的に取り組むことができるよう題材の計画を工夫すること、1人1台端末で実践的・体験的な活動や考えの整理を行うなどICTを効果的に活用することが大切です。

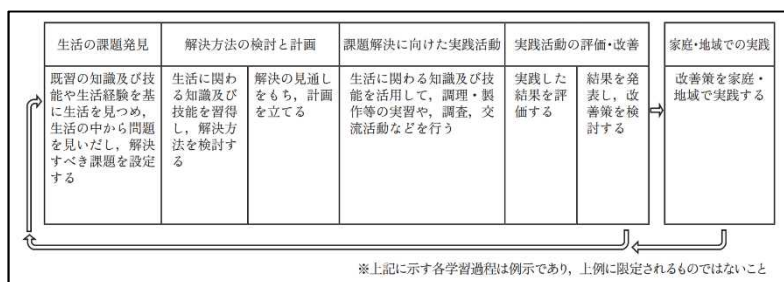
I 目標の明確化や評価の充実のポイント

育成を目指す資質・能力を明確にするためには、資質・能力を身に付けた児童の状況を具体的にイメージし、観点別に評価規準を設定することが大切です。

家庭科では、題材の目標を学習指導要領に示された教科の目標並びに題材で指導する項目及び指導事項を踏まえて設定するとともに、家庭科の授業において評価を行う際には、学習指導要領における各内容の各項目及び指導事項が2学年をまとめて示されていることから、「題材の評価規準」を学習活動に即して具体化する必要があります。これらを設定することにより、目標に照らして児童の学習状況を把握することができます。

II 指導計画の改善のポイント

題材の計画に当たっては、①既習事項や生活経験を基に生活を見つめ、日常生活の中から問題を見いだす活動、②生活課題について自分の生活経験と関連付け、課題解決の見通しをもって計画を立てる活動、③課題の解決に向けて実践した結果を振り返り、考えたことを発表し合い、他者からの意見を踏まえて改善方法を考える活動を位置付けるなどして、児童が主体的に日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現できるよう工夫することが大切です。



【家庭科の学習過程の参考例】

III 手立ての充実のポイント

資質・能力の育成に向けた支援を行う際には、ICTを効果的に活用することが考えられます。解決すべき課題を設定する場面では、生活事象の前後を撮影しておくことで、一人一人の知的好奇心が喚起され、意欲的な取組に繋がります。実践した結果を評価・改善する場面では、撮影した動画により、自己の実習等の様子を可視化し、自己理解や自己評価・改善に生かすことができます。

また、課題解決に向けた実践活動において、家庭や地域での実践計画の記録を残し、実践の様子を撮影することにより、実践の成果を具体的に説明したり、実践の改善に生かしたりすることが考えられます。

【参考資料】

・家庭、技術・家庭（家庭分野）の指導におけるICTの活用について（文部科学省）



【スライド資料】



【解説動画】

日常生活の中から問題を見いだし課題を設定し、課題を解決する力を育む計画の改善

<題材名> 「買い物名人になるために ～よりよい買い物の仕方について考える～」

<題材の目標>

- (1) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解する。
- (2) 身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理に適切にできる。
- (3) 購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方や買い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (4) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、身近な物の選び方や買い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

< 題材の評価規準 >

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。 ②身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理に適切にできる。	①購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方や買い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・家族の一員として、生活をよりよくしようと、身近な物の選び方や買い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

< 題材の指導計画（4時間） >

学習過程	学習活動	評価規準・評価方法等	
生活のあ 課題発見 解決すべき 課題の設定 (2)	○身近な物の選び方、買い方について 問題を見いだして課題を設定 する。 ・自分や家族のお金の使い方や失敗談について調べたことを話し合い、問題を見いだして課題を設定する。 ○買物の仕組みや消費者の役割を理解する。 ○物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解する。 ・売買契約が成立するのはどの時点かを話し合う。 ・買い物の視点を整理し、消費者としての計画的な使い方などを考える。	[思・判・表] ポートフォリオ 既習事項や自分の生活経験と関連させながら問題を見いだして課題を設定しているか。 [知・技] ポートフォリオ 買物の仕組みや消費者の役割、買い物の視点、環境に与える影響など、まとめられているか。	【Ⅰ 評価の充実】 題材の評価規準は、「内容のまとめりごとの評価規準（例）」から題材において指導する項目及び指導事項に関係する部分を抜き出し評価の観点ごとに整理・統合、具体化するなどして作成している。
解決方法の 検討と計画	○購入するために必要な情報を活用して、身近な物の選び方、買い方について考え、 買い物計画を立てる ことができる。 ・各自が課題の解決に向けて計画を立てる。 ・友だちや先生、家族からのアドバイスを参考に自分の 実践計画を見直す 。	[思・判・表] 実践レポート 買い物計画を立てたり、アドバイスを元に計画を見直したりできたか。 [主体的] ポートフォリオ・行動観察 課題の解決に向けて、アドバイスを参考に、主体的に取り組もうとしているか。	【Ⅱ 指導計画の改善】 「課題を設定」する際は、既習事項や自分の生活経験と関連付けて考えられるように「生活を振り返ったり見つめたりする活動」を位置付けている。 【Ⅱ 指導計画の改善】 生活で使う身近な物などを取り上げ、児童や家族の生活と結び付けて考え実践的に学習できるようにしている。
課題解決に向けた 実践活動	【家庭実践】 ・課題をレポートにまとめる。		【Ⅲ 1人1台端末の活用】 着目した「選ぶポイント」についてその理由を記入するなど、端末を利用してレポート作成することで、各自の思考の過程を視覚化し多様な観点から比較検討しやすくしている。
実践活動 あの評価 (2)	○身近な物の選び方、買い方の課題解決に向けた一連の活動について、実践したことや考えたことを分かりやすく表現することができる。 ・実践したことを計画・実践レポートにまとめる。（課題、実践内容と工夫、自己評価、家族の感想など）	[思・判・表] 実践レポート・発表 学習した知識・技能を活用し、実践したことや考えたことを分かりやすく表現できたか。	【Ⅲ 1人1台端末の活用】 情報を共有することで、具体的な説明や実践の改善に生かしている。
実践活動 あ の改善 新たな課題の 設定	○家庭での実践を報告し合い、実践した結果を 評価・改善し、新たな課題 を見付け、次の実践に取り組もうとする。 ・レポートをもとにグループで交流する。 ・よりよい買い物の仕方について新たな課題を見つけ、「買い物名人になるために」、物の選び方や買い方について意識したいことや考えをまとめる。	[思・判・表] 実践レポート・発表 実践結果を評価・改善し、実生活で活用できる新たな課題を見つけられたか。 [主体的] 実践レポート・行動観察 一連の学習を振り返り、実生活に活用しようとしているか。	【Ⅱ 指導計画の改善】 学習した知識・技能を実生活で活用できるよう、実践を評価・改善し、新たな課題を見つける活動を設定している。